

第3回土地家屋調査士ガイダンス報告

日時 平成31年3月10日（日）13:00～16:30

場所 ウィンクあいち13階特別会議室

日本土地家屋調査士会連合会中部ブロック協議会と東京法経学院の共催事業である「第3回土地家屋調査士ガイダンス」が開催されました。会場へは連合会中部ブロック協議会の大保木会長、東海工業専門学校野村校長、成田先生もお越しになりました。これから資格取得を考えているけど、土地家屋調査士って資格の将来性はどうなんだろう、資格を取得した後に開業を検討していくにあたり、どうやって開業していくのだろう等、希望と不安を抱えた受講生27名がこのガイダンスを受講しました。

ガイダンスは第1部「資格取得希望者への説明会」、第2部「開業希望者への説明会」、第3部「個別相談会」の順番で行われました。

第1部は、三重会会員であり、東京法経学院非常勤講師の小林弘仁氏が講義を行いました。「土地家屋調査士の仕事とは？」を中心に資格制度、全国の土地家屋調査士会について、土地家屋調査士を取り巻く環境について、不動産の表示に関する登記の専門家について、具体的な土地・建物の表示に関する事例について（登記申請書類・地積測量図・建物図面）等の講義を行いました。

第2部は、愛知会の近藤正行副会長が講義を行いました。テーマは「開業するにはどのようにしたら良いのか？」ですが、その前にそれより大事な話として「あなたは、なぜ土地家屋調査士になろうと思ったのか？」から始まり、開業するにあたり明確な目的意識をもって行動していくことで開業が実現でき、更に発展させられることができるという内容の講義を行いました。第1部、第2部の講義を受講者は、前方のスクリーンに目をやり、メモをとり、講師の話真剣に聞き入っている姿が印象的でした。



第2部講師 近藤副会長

第3部は、5ブースに分かれて具体的に個々の相談を受けました。私が担当したブースでの相談者は、今年から土地家屋調査士試験に挑戦する方でしたが、既に開業をした後のことも考えている方でした。その方には私の受験経験や開業準備などで苦労したことや良かったことの話をしてしまいましたが、その方にとって少しでも参考になればと思います。

最後に今回の受講者は昨年より少なく、受講者中3名が補助者経験ありの方でした。ガイダンスに参加された全ての方がこのガイダンスの講義の内容をしっかりと心に刻み、土地家屋調査士に夢と希望を抱き、私たちの仲間となってくれることを願っています。

（広報部理事 佐藤千秋）